2025年 10月号

牛肉営業部

令和7年度全国肉用牛枝肉共励会

セリ販売日10月31日(金)

令和7年度全国肉用牛枝肉共励会が、来る10月28日火 ~10月31日 金にわたり 開催されます。 当共励会は、肉用牛 肥育技術の確立と枝肉の肉質向上ならびに経済性の増進に 資するため、東京食肉市場に出荷実績を持つ全国各地の出 荷者によって肥育された牛が、農林水産大臣賞、東京都知事 賞を始めとした数々の栄誉を競います。出品頭数は 500 頭 の上場頭数にて開催され、和牛去勢牛が 263 頭、乳用去勢 牛及び交雑去勢牛が69頭、和牛牝牛が168頭を予定してお ります。

<行事予定>

10月28日(火)午前10時00分より出品牛測定(和牛牝) 29日(水)午前8時30分よりと畜解体(和牛牝)

午前10時00分より出品牛測定

(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛) 30日(木)午前8時30分よりと畜解体

(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛)

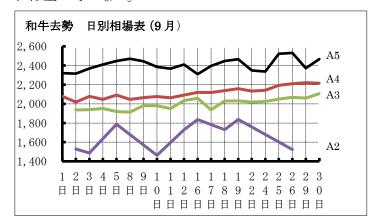
31 日(金)午前6時30分より枝肉審査 午前8時45分よりせり販売

(せり順 交雑→和牛雌→和牛去勢→搬入)

※ せり当日は、生産者の方は8:10まで 冷蔵庫へ入室できません

<9月の相場動向>

9 月前半は夏休み需要の終了と彼岸まで続いた残暑の 影響で、和牛・交雑ともに低調だった。後半は産地フェ アの開催や気温が平年並みに落ち着いたことで、スライ ス材に動きが出て、相場はやや回復した。しかし和牛ロ ースは構造的な販売不振で在庫がだぶつき、本格的な相 場上昇とはならず、節約志向も根強く、需要の本格回復 には至っていない。



和牛去勢 (月平均)

	11. 1 = 22							
	加重平均	前年同月比		加重平均 前年同月比 前月比		月比		
A5	2,418円	-7 円	99. 7%	+64 円	102. 7%			
A4	2,109円	+33 円	101.6%	+28 円	101. 3%			
А3	1,994 円	+79 円	104. 1%	+24 円	101. 2%			
A2	1.598 円	-76 円	95. 5%	-139 円	92. 0%			

交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月	月比
B4	1,676 円	-82 円	95.3%	-8 円	99. 5%
В3	1,523 円	-78 円	95.1%	-53 円	96.6%
B2	1,397 円	-31 円	97.8%	-36 円	97. 5%

乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
В3	_	_	_	_	_
B2	1,140円	_	_	±0 円	100.0%

<10月の牛肉輸入量予測>

財務省発表の輸入通関実績によると、8月の輸入量は 前年同月比 11.6%減の 4 万 3,221t で、うちチルドは 6.4% 減の1万4.965t、フローズンは14.1%減の2万8.256tだ った。

農畜産業振興機構によると、9月の牛肉輸入量は前年 同月比 102.7%増の 3 万 9,200t (チルド 12.2%減・冷凍 12.9%増)、10月は8.5%減の4万200t(チルド10.7%減・ 冷凍 7.1%減) と予測。年末に向けて相場上昇の可能性は あるが、実需と現地相場を見ながらの取引となるため、 前年をかなり下回る見通し。

輸入牛肉通	輸入牛肉通関量		前年同月	前年同月比	
	豪州	8, 394	6, 369	131.8%	
チルド	米国	5, 569	8, 317	67.0%	
	その他	1, 305	1,002	130. 2%	
	合計	14, 965	15, 991	93.6%	
	豪州	13, 691	16, 297	84.0%	
フローズン	米国	9, 336	8, 693	107.4%	
	その他	5, 229	7, 903	66.2%	
	合計	28, 256	32, 893	85.9%	
出典:食肉速報 単位:t					

出典:食肉速報

<10 月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による10月の出荷予測頭数は、全体で 前年比 96.1%の 9 万 5,800 頭で、品種別では和牛が 6.6%減 の4万5,400頭、交雑種は7.0%増の2万3,800頭、乳用種 は 9.0%減の 2 万 6,000 頭と予測している。東京食肉市場の 10月と畜頭数は8,050頭(前年比97.3%)を予定していま す。

<10月の牛枝肉相場見通し>

10 月に入り気温が平年並みに落ち着いたことで、量販店 のスライス材へのシフトの動きは昨年より早まっている。 しかし、消費者の節約志向が続いており、国内の牛肉需要は 低価格部材や和牛経産に集中しているため、相場の本格上 昇は見込みにくい。例年、秋は輸出用和牛ロースの引き合い が強まるが、今年は国内・輸出需要とも低迷し、問屋在庫も 積み上がっているため厳しい展開が予想される。交雑種は 量販店などからの需要が続いており、需給は引き締まった 状態が続く見通し。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,400~2,800	В4	$1,650\sim 1,850$
A4	2, 150~2, 400	В3	$1,550\sim 1,650$
А3	2,000~2,150	B2	$1,400\sim 1,550$
A2	1,750~2,000		
乳牛去勢			
В3	1,200~1,300		
B2	1,100~1,200		

豚肉営業部

8月の全国と畜頭数は117万8,219頭(前年同月比3.6% 減)と前年を下回り120万頭を割り込んだ。また、8月の豚 肉通関数量は7万4,070t(前年同月比12,0%減)と前年を 下回り、前月比でも10.5%減となった。内訳はチルドが3 万359 t (同4.5%増)、フローズンは4万3,711t (同 20.7%減)となった。

	2024-2025 年の需給量と推定期末在庫						
	供絲	合量	推定期	末在庫	推定出	定出回り量	
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物	
8	65, 651	84, 078	22, 108	200, 290	66, 675	79, 317	
9	68, 773	78, 666	21, 580	201, 197	69, 219	77, 759	
10	7,9625	86, 742	21, 384	201, 922	79, 699	86, 017	
11	78, 361	78, 216	21, 389	194, 797	78, 249	85, 341	
12	80,661	76, 518	22, 458	185, 736	79, 425	85, 579	
1	79, 908	80, 505	23, 536	190, 508	78, 746	75, 733	
2	72,607	71, 911	24, 121	192, 819	71,884	69,600	
3	76, 052	65, 956	24, 424	192, 115	75, 606	66, 660	
4	77, 457	93, 904	24, 518	197, 256	77, 266	88, 763	
5	73, 100	90, 460	24, 091	214, 149	73, 406	73, 567	
6	68, 598	83, 731	24, 109	222, 274	68, 453	75, 606	
7	69,871	82, 687	22, 399	219, 105	71, 374	84, 255	
8	63, 753	74, 022	21, 855	216, 178	64, 151	76, 949	
比	97%	88%	99%	108%	96%	97%	
出典	: 農畜産業	振興機構	比:最終月	の前年同期	引比 単	位: t	

出典:	農畜産業振興機構	比:最終月の前年同期比	単位:t

8月豚肉通関実績					
アメリカ	10, 405	92. 2%	デンマーク	1,896	31.2%
カナダ	16, 783	108.8%	スペイン	14, 708	96. 5%
メキシコ	3, 168	135. 7%	メキシコ	3, 971	70.2%
			アメリカ	5, 258	72.6%
			カナダ	3, 987	114.1%
合計	30, 359	104.5%		43, 711	79.3%
				単	位:t

<9月の豚取引の推移>

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数			
1 日	61, 200	593	568	912			
2 日	58, 900	629	609	824			
3 日	58, 500	645	628	606			
4 日	60, 000	669	665	718			
5 日	57, 500	691	681	919			
8 日	61, 900	675	662	802			
9 日	61, 900	727	702	935			
平均	59,986/日			817/日			

出荷頭数は低調に推移し6万頭を割り込む目もあった。 物価全般が上昇する中、消費者の節約志向は根強く、スソ 物の動きは良好な一方、中部位の荷動きは鈍く、安価な輸 入品へシフトする傾向も散見された。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10 日	60, 500	705	674	658
11 日	62, 200	704	667	801
12 日	60,000	690	660	1,047
16 目	70, 800	727	686	844
17 日	67, 500	694	663	1,007
18 日	67,000	646	611	1, 116
19 日	66, 400	575	548	1,067
平均	64,914/日			934/日

強保合いで推移していた相場は、連休の手当て買いの影 響から一時的に反発し、700円を超える展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22 日	60,600	596	584	822
24 日	70, 500	619	598	1,004
25 日	68, 500	608	594	991
26 日	64, 400	601	582	996
29 日	65, 200	585	558	944
30 日	67, 800	608	564	864
平均	66, 167/日			937/日

ようやく朝晩の気温が下がり始め、東北地方では出荷頭 数が増加傾向にある。しかし、相場は600円前後で推移し ており、軟調な展開となった。

<10月の豚枝肉相場見诵し>

農林水産省による令和7年10月の肉豚出荷予測では147 万7,000頭(前年比101%増)と予測している。当市場の10 月集荷予定せり頭数は2万頭、1日あたりでは約909頭を見 込んでいる。

農畜産業振興機構によると 10 月分の豚肉輸入見込数量 は、総量で7万5,800t(同87.4%)、内訳は冷蔵輸入量が3 万 200t (同 88.4%)、冷凍輸入量は 4 万 5,600t (同 86.8%) と予測。

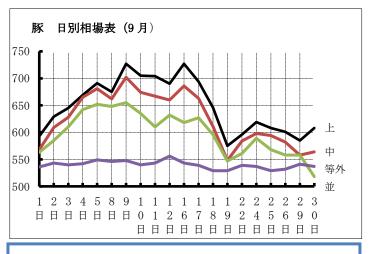
冷蔵品輸入量は、現地相場高の影響等により米国産の減 少が見込まれること等から、前年同月をかなり大きく下回 ると予測する。また、3カ月平均も前年同期をやや下回る と予測する。

冷凍品輸入量は国内の輸入品在庫が多いことや、前年の 輸入量が多かったこと等から、前年同月を下回ると予測す る。なお、3カ月平均では前年同期をかなり大きく下回る と予測する。

例年、10月は気温の低下に伴い出荷頭数が増加する傾向 にある。しかし、今年の10月上旬は全国的に気温の高い 日が多く、残暑が続く予報となっている。寒暖差の影響に より、増体不良や呼吸器系の疾病が発生する可能性があ り、出荷頭数が予想よりも伸びないことが懸念される。

一方で、10月中旬以降は気温が下がる見込みであり、出 荷頭数は順調に増加すると見られる。相場は3連休前の手 当て買いによって一時的に上昇するが、連休明け以降は在 庫補充が一巡することで、基本的に下げ基調となる見通し である。

以上のことから当市場の上物平均価格は550円前後、中 物平均価格 530 前後の展開と予測する。



東京都港区港南2-7-19 東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127